

# 営農情報

第3号 平成25年9月2日発行

(大豆営農情報 9月号)

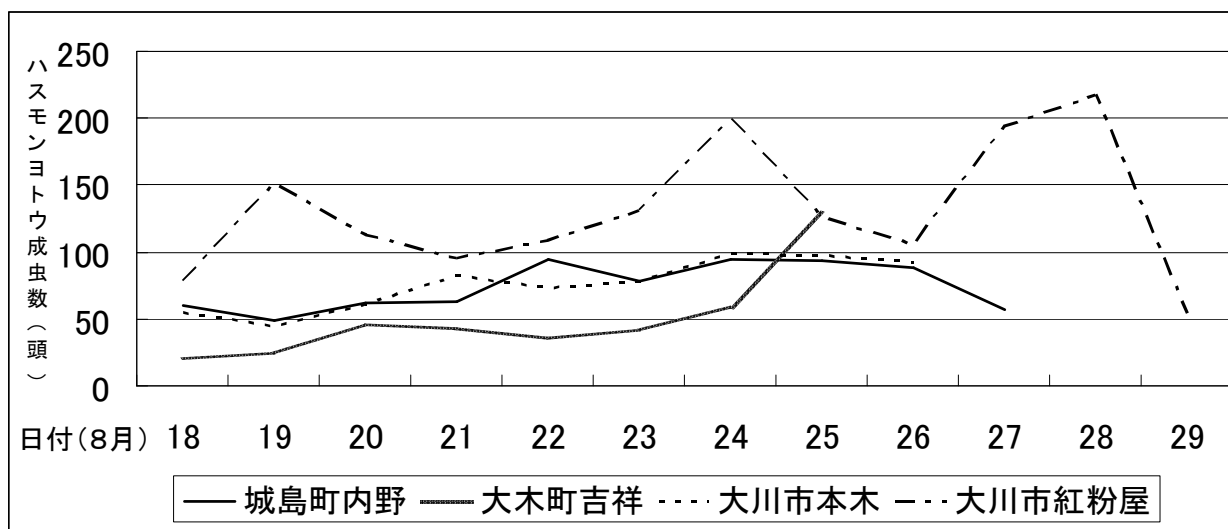
福岡大城農業協同組合  
南筑後普及指導センター

## 1 大豆の生育概況

今年は梅雨明けが早く、適期に播種が行われたことから大豆の生育は旺盛で、開花期は8月23日頃となりました。一部ほ場では、播種後の乾燥による出芽遅れで、生育が遅れています。

## 2 ハスモンヨトウの防除について

フェロモントラップ調査によるハスモンヨトウ成虫の誘殺数は、以下の通りです。



8月24日、28日頃にピークを迎えていることから、防除はその10～14日後である、以下の時期に実施します。

**防除適期 9月7日頃**

今年は適度な降雨もあったことから、ハスモンヨトウの発生はやや少ない状況です。2回目の防除は必要ないところが多いと思われます。

## 3 防除薬剤

ハスモンヨトウとカメムシ類・紫斑病の同時防除を行います。

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用回数	1000あたり薬剤量
ハスモンヨトウ	プレバソンフロアブル5	4000倍	2回以内	25ml
カメムシ類	キラップフロアブル	2000倍	2回以内	50ml
紫斑病	トップジンM水和剤	1000～1500倍	4回以内	70～100ml

※【散布量】 10aあたり100～300リットル